

第 132 回 海上交通システム研究会 ご案内

“船長の責任に関する諸問題—今、船長が直面している新たな課題”

協賛：公益社団法人 日本航海学会

船長は船主の代理人として船舶に乗り組み最高指揮者として所与の航海を成就させる責任 — 航海中に遭遇する海上特有の全ての困難・危険に対処する強力な権限と広範な裁量が付託され、同時に当該航海中における全ての事実を報告・疎明する義務 — がある。

近年、船舶は巨大化・装備は複雑高度化し海洋汚染防止その他の堪航性能の検査・確認行為は極度に専門化分業化しており、また、一部貨物のブラック化、サブスタンダード船、混乗問題等及び海賊や地域紛争等の作為的危険の中にある。これに対し、船陸間の情報通信網の整備は、船長が取得する情報を向上させ安全航行に大きく寄与している。その反面で、陸上部門からの助言・指示等や沿岸国による入域拒否、航行管制、発航差止等監視・監督の強化は、船長の決断に多大な影響を及ぼしている。

このような、現代における緻密な分業体制の中、遭難等航海不成就時の最終の責めを、今尚、船長が負うとされている現実について、歴史・法制度・社会の期待等多角的視点から考察を試みます。

参加通知は、研究会・情報交流会の別に、事務局宛 2月3日(金)までに(なるべくe-mailにて)!
なお、会場は座席の数が限られていますので、先着順とします。お早めに通知願います。

プログラム

1. 日時 平成 29 年 2 月 8 日 (水) 13:30~17:25 あと情報交流会
2. 場所 神戸大学大学院海事科学研究科 (神戸市東灘区深江南町 5-1-1)
総合学術研究棟 2 階 MIPC1 (コンピューター100 台ルーム)
アクセス：<http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/fukae/index.html>
3. 会の次第
総合司会 幹事 澤井 弘保
13:30~13:35 会長挨拶 会長 古莊 雅生
13:35~14:25 船長をめぐる諸問題 (海技者の事情)
一般社団法人 日本船長協会 会長 小島 茂 氏
14:25~15:15 船長の職責—法的責任から社会的責任へ—
東京海洋大学 学術研究院 海事システム工学部門 教授 逸見 真 氏
15:15~15:30 会務報告及び休憩 会務報告 幹事 寺田 政信
15:30~16:20 クオリティシッピングと『悩める船長』
福知山公立大学特任教授・京都大学大学院経営管理大学部特命教授 篠原 正人 氏
(篠原経済研究所主宰)
16:20~16:25 小休憩 (室内配置変え)
16:25~17:25 パネル・ディスカッション
パネリスト：講師 3 名及び鈴木 三郎 神戸大学名誉教授、MOL 宮田 浩 船長
司会 国際船長協会連盟副会長 会員 赤塚 宏一
4. 情報交流会 17:30~19:30…大会館学生食堂…多数のご参加をお待ちします。
5. 参加費 講演会 (含む、飲み物代・資料代) 会員 1000 円、非会員 3000 円
(会員の紹介があれば会員並み)
情報交流会 会員・非会員とも 3000 円
6. 問い合わせ先； 〒658-0022 神戸市東灘区深江南町 5-1-1
MTS 事務局 神戸大学大学院 海事科学研究科 教授 古莊 雅生 (ふるしょう まさお)
事務局：Tel・Fax: 078-431-6318 e-mail: office@mts-matrix.org